

平成20年度「立ち上がる農山漁村～新たな力～」選定団体概要書

◎団体の種類：【商工会】

1. 都道府県、市町村 長野県池田町

2. 団体名 池田町商工会

3. 取組概要等

◇支援・協力を行っている団体名及び活動の名称

団体名：金の鈴まごころ会（事例No. 19）

活動名：花とハーブの町の新たな流通

◇支援・協力をを行うこととなった経緯

池田町は「花とハーブ」の町を推進しており、池田町商工会が平成11年から地域資源活用の調査事業に取組み、地域資源を活用する調査研究の中でフランス料理店のシェフのアドバイスからハーブ・野菜の食材提供が始まった。平成13年から「北アルプス料理人協会」役員やレストランを訪問し料理長と懇談を通じてニーズ等の調査を実施した。その結果、使われているハーブの多くが池田町の農家で栽培されており、野菜の栽培についても対応することが可能であることがわかり、毎週配達を行うこととした。このような活動を経て、平成15年に任意団体「金の鈴まごころ会」が発足。発足後も情報の提供や運営支援について協力を行っている。

◇協力している活動（金の鈴まごころ会）の概要

昭和61年、池田町生活改善グループ連絡協議会を設立。その後、商工会女性部の仲間とともに、農業振興と商店街の活性化を図るため、平成10年より金の鈴朝市を開設した。平成12年にはホテル・レストランへのハーブと農産物の直販を開始したが、池田町が「花とハーブ」の町を推進していることと、農家が食材のハーブをすでに栽培し、これらを活かしたいと考えていたこと、商工会の地域資源を活かす調査研究事業とがマッチングし、池田町のハーブ・野菜の食材提供事業が平成13年から始まった。

◇協力のポイント

・池田町の「花とハーブの町」づくりの推進と、農家が既にハーブを食材として栽培していたことに着目し、これらをレストランシェフのニーズにマッチングさせたこと。

・少ないロットで様々な種類のハーブ・野菜を栽培し、安定的に供給する体制や注文と配達の仕事づくり。